

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	「健康長寿日本一のまち」推進プロジェクト		実施期間	H23～	テーマ	健康長寿日本一プロジェクト（町重点施策）	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町の人口は、平成23年9月1日現在 9,946人に対し、65歳以上人口は2,234人と22.46%を占めている。今後も少子高齢化が進むことが予測され、医療費等に係る扶助費が年々増加する中、平均寿命が健康寿命の延伸を妨げる各種疾患の罹患を防ぎ、健康な状態で生活を送るための支援策が必要とされている。</p> <p>※健康寿命＝日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる生存期間</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>住民が健やかな生活をするために、生活習慣を振り返るきっかけづくりの場を提供し、「自分の健康は自分で守る」という意識改革に取り組むとともに、各種予防接種を実施し、疾患の罹患を防ぐ。また宇治田原町において生活をする高齢者の方が、生き甲斐をもって生活が送れるように、自らの経験や知恵を生かして働ける場所を提供できるようにシルバー人材センターを設置し、運営補助を実施することにより経営の安定化を図る。</p>							
	総事業費（千円）	10,661	本年度事業費（千円）	10,661	交付金額（千円）	909		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	療育教室運営事業	交付事業	<p>身体の障がい、精神発達の遅滞障がいの幼児を早期発見し、適切な指導のもと、心身障がいの進行を未然に防止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士、保育士、保健師による集団指導</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士、保育士、保健師による集団指導</li> </ul>		
	スリムで健康事業	交付事業	<p>40歳～74歳以下の住民を対象に、メタボリックシンドローム等に代表される生活習慣病対策に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践型の集団教育・健康事業の実施（年2回/5回シリーズ）</li> <li>健康状態の把握→健康づくりプランの作成→実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実践型の集団教育・健康事業を実施。</li> <li>◆実施期間と参加者数</li> <li>第1クール 7/6～9/2、計5回、16名（延べ59名）</li> <li>第2クール 11/9日～1/23、計5回、18名（延べ75名）</li> <li>◆実施内容…身体計測、栄養士の講話、調理実習等</li> </ul>		
	母子保健事業	交付事業	<p>母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、保健指導・健康診査等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳の交付、マタニティ教室、発達段階における健康診査、発達相談</li> <li>※療育教室運営事業とも関連して実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆マタニティ事業</li> <li>・母子健康手帳交付数 67名</li> <li>・マタニティ教室12回</li> <li>◆新生児訪問</li> <li>・出生児数66名、訪問児数62名、訪問実施率93.9%</li> <li>◆乳幼児健康診査事業</li> <li>・17回実施</li> <li>◆乳幼児相談事業</li> <li>・乳児後期健康相談69名</li> <li>・離乳食教室4回、26名</li> <li>・発達心理相談24回、33名</li> <li>◆家庭訪問</li> <li>・家庭訪問件数（新生児含む）145名</li> <li>◆母子療育教室</li> <li>・母子療育教室（延べ人数）148名</li> </ul>		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

住民協働事業	食でいきいき健康づくり事業	交付事業	<p>食育推進計画の具現化を図るため、食育ネットワーク協議会を設置し、実施計画を策定するとともに、乳幼児や児童を対象とした食育教育を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育ネットワーク協議会（食生活改善推進員、JA女性部、手作り商品生産者等）</li> <li>・食育推進実施計画の策定（～H24）</li> <li>・体験型食育教室の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食育推進ネットワーク会議 2回開催</li> <li>◆児童の食育教室 実施日：平成23年8月23日（火） 参加者：小学4・5年生12名 関係者：JA直売所2名、食生活改善推進員2名、職員5名</li> <li>◆親子クッキング教室 実施日：平成24年2月11日（土） 参加者：小学生16名、保護者13名 関係者：JA直売所1名、食生活改善推進委員3名、保育士2名、職員3名</li> </ul>																					
	地域巡回型健康教室実施事業	交付事業	<p>地域の健康課題に応じた健康教室を自治会等の協力を得ながらきめ細かく実施し、地域住民の健康増進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ごとの健康課題の明確化、健康教室の実施、個別健康相談を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆町の健康課題に応じた健康教室を地区単位できめ細かく実施し、適正な医療受信行動知識の普及・啓発を行った。</li> <li>・実施回数：11回</li> <li>・参加者数：304名（11地区）</li> <li>・内容：身体測定、血圧測定 等</li> </ul>																					
	食の自立支援事業	関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の作成ボランティア等との協働により、高齢者及び身体障がい者に昼食・夕食の配食サービスを実施し、食事による健康管理を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の作成ボランティア等との協働により、高齢者及び身体障がい者に昼食・夕食の配食サービスを実施し、食事による健康管理を実施。</li> </ul>																					
住民が取り組む事業	シルバー人材センター運営補助事業	交付事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が長年培ってきた経験と技術を生かし、社会貢献をしていただくため就労機会の斡旋を目的に設立されたシルバー人材センターへの運営補助を行う。</li> </ul> <p>事業実施（運営）主体：宇治田原シルバー人材センター</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受託件数</th> <th>受託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・行政関係</td> <td>218件</td> <td>10,779,137円</td> </tr> <tr> <td>・民間企業</td> <td>181件</td> <td>11,610,771円</td> </tr> <tr> <td>・一般家庭</td> <td>59件</td> <td>1,458,035円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>458件</td> <td>23,847,943円</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td colspan="2">116人（平成24年3月末現在）</td> </tr> <tr> <td>就業日数</td> <td colspan="2">5,021人・日</td> </tr> </tbody> </table>		受託件数	受託金額	・行政関係	218件	10,779,137円	・民間企業	181件	11,610,771円	・一般家庭	59件	1,458,035円	計	458件	23,847,943円	会員数	116人（平成24年3月末現在）		就業日数	5,021人・日	
	受託件数	受託金額																							
・行政関係	218件	10,779,137円																							
・民間企業	181件	11,610,771円																							
・一般家庭	59件	1,458,035円																							
計	458件	23,847,943円																							
会員数	116人（平成24年3月末現在）																								
就業日数	5,021人・日																								
成果指標	成果指標の目標数値	健康寿命の向上 平成17年 73.58歳→平成27年 74.6歳		成果指標の実績値 （〇年〇月〇日時点）	—																				
	成果指標の達成状況	—	（左の理由）																						
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）	厚労省より5年に1度行われる国勢調査のデータを基に計算されるが、町ごとの数値は公表されていないため。	（時期）	不明（平成24年3月31日時点）																				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>生活習慣病の予防等、自らの健康保持に関する意識の高揚が図られており、生活習慣を振り返るきっかけづくりとなっている。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>地域の健康課題に対し、自治会ごとで取り組むことにより、健康の向上と自治意識の高まりにつながっている。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	
	<p>広域的波及成果</p>	
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>高齢者の健康の向上に努めることで、医療費の削減につながっている。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>食に対する意識向上の働き掛けにより、食生活の充実と健康管理を推進している。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。